

議会から みんなにちは

2021 5.1
令和3年



さの

市議会だより

www.city.sano.lg.jp/gikai/

臨時会

■令和3年2月8日に臨時会を開催

令和3年2月定例会

- 令和3年度予算案を可決
- 予算審査特別委員会を延べ24人が質疑
- 一般質問18人が登壇

佐野市議会

検索



3月28日(日)に行われた、新型コロナウイルスワクチン集団接種のシミュレーションの様子です。個別の接種ブースなどを設置し、実際の流れを確認していました。

▶佐野市議会の様子をライブ中継と録画により映像配信しています。

佐野市議会ライブ中継

検索



令和3年度の子算案を審議、可決

令和3年度予算は、「令和3年度佐野市行政経営方針」及び「令和3年度予算編成方針」に基づき編成されました。

市長の予算大綱説明に対する質疑に鶴見義明議員（日本共産党議員団）、山菅直己議員（政友みらい）、菅原達議員（公明党議員会）、横田誠議員（新風）、久保貴洋議員（蒼生会）、（以上質疑順）の5人が登壇しました。

また、議員全員で構成する予算審査特別委員会では、一般会計、特別会計及び企業会計の予算案に対し、3月5日、8日、9日の3日間にわたり延べ24人の委員による質疑が行われました。その結果、新年度予算全7議案を可決し、併せて「令和3年度予算審査要望書（5ページに記載）」を取りまとめました。



市長の予算大綱説明

予算審査特別委員会

（パソコン・タブレット・スマートフォンで映像をご覧になれます!）



副委員長
早川 貴光



委員長
鈴木 靖宏

佐野市議会 議会中継
（令和3年）

「令和3年第2回（2月）定例会・
常任委員会・予算審査特別委員会」
からご覧ください。



予算審査特別委員会質疑者一覧

一般会計			
発言 順序	氏名	発言 順序	氏名
1	山菅直己	9	横井帝之
2	鶴見義明	10	岡村恵子
3	木村久雄	11	久保貴洋
4	横田誠	12	菅原達
5	亀山春夫	13	小倉健一
6	高橋功	14	金子保利
7	田所良夫	15	慶野常夫
8	飯田昌弘		

特別会計及び企業会計			
発言 順序	氏名	発言 順序	氏名
1	菅原達	6	横井帝之
2	金子保利	7	田所良夫
3	木村久雄	8	久保貴洋
4	鶴見義明	9	岡村恵子
5	飯田昌弘		



予算審査会場の様子

令和3年度予算の概要（当初予算額）

一般会計	501億2,000万円
特別会計	253億4,860万円
企業会計収入	98億4,028万円
// 支出	118億2,194万円

(1万円未満四捨五入)

議 会 費

議員人件費	2億1,350万円
議員24名の人件費	
職員人件費	7,273万円
議会事務局職員9名の人件費	
政務活動支援事業費	720万円
議員一人あたり年間30万円(月額2万5千円)の政務活動費を交付する費用(議員24名分)	
議会運営総務事務費	574万円
議会運営に関する諸費用	
会議録作成事業費	527万円
会議録作成費及び会議録検索システム使用料など	
議会だより発行事業費	404万円
さの市議会だよりの印刷費用(定例会号が年4回、臨時会号が年1回)など	
常任委員会活動支援事業費	286万円
常任委員会の行政視察に要する費用	
議会映像配信事業費	162万円
定例会及び臨時会の映像配信に要する費用	
全国市議会議長会参画事業費、ほか7事業	197万円
全国市議会議長会負担金など	
計	3億1,493万円

(注)各事業費の1万円未満を四捨五入しているため、実際の数値と異なることがあります。

令和3年度予算審査要望書

(スマートーフシティの推進)

- 1 コロナ禍は、地域経済に甚大な影響を与えている一方で、地方への移住の関心の高まりやテレワークなどの新たな働き方など、意識改革や行動変容をもたらした。これに伴い、様々な分野においてデジタル化への対応の加速化が求められる状況となっている。

そこで、新型コロナウイルス感染症の影響による地域経済の急激な収縮や、令和元年東日本台風で代表される災害リスク、少子高齢化や人口減少といった、本市が抱える様々な課題を乗り越えるために、デジタル技術や先端技術を活用したスマートーフシティを推進し、新しい生活様式への対応と地域間や世代間の格差解消に積極的に取り組まれない。

また、スマートーフシティの推進に当たっては、市民の安全安心を第一に、地域の実情に沿った市民目線による取組を進めるとともに、デジタル弱者を取り残さないよう十分配慮されたい。

(新型コロナワクチン接種の円滑な実施並びにPCR検査及び抗原検査の充実)

- 2 市民が、新型コロナウイルスワクチンを安心して接種できるよう、特に、高齢者や障がい者が受けやすい、地域の実情に応じた接種体制の構築の提供に努められたい。また、市民に対して、ワクチン接種のスケジュールを提示しているが、関連する医療機関などと十分に連携協力をしながら市民が不安なく安心して、速やかに接種できるように努められたい。

加えて、PCR検査及び抗原検査の充実を図り、新型コロナウイルス感染症に対する市民の不安を払拭されたい。

(子育て世代包括支援センターの充実)

- 3 市民が、安心して出産・育児ができるよう、さらに、少子化対策・定住促進の観点から、子育て世代包括支援センターの周知に努めるとともに、妊産婦やその家族が気軽に相談ができる環境を提供するための、保健師の配置を含めたセンターの設置体制の見直しと充実に努められたい。

(新型コロナウイルス感染症の影響に対する事業者支援)

- 4 新型コロナウイルス感染症対策による市内事業者の営業自粛や時短営業などの影響は、計り知れない状況にある。その経営状況は、事業者によって様々であると思われるので、直接的又は間接的かつ継続的に豊富な支援メニューをもって、充実した支援に当たられたい。

(中山間地域の活性化支援)

- 5 今年度にあそ野学園義務教育学校が開校し、現在、葛生義務教育学校の開校準備が進められている。閉校する学校の周辺地域では、学校を中心とするコミュニティーの衰退が懸念事項とならないよう、新たな人の流れの創出、小さな拠点作り、移住・定住等といったコミュニティーの活性化、新たなコミュニティーの立ち上げなどをもって支援に当たられたい。

(移住・定住に資する住まいと雇用の創出)

- 6 東京一極集中の是正に向け、移住・定住に関する取組を推進しているものの、未だ若年層の、特に女性の転出超過については改善の兆しが見出せない状況が続いている。こうした状況下、新型コロナウイルス感染症の影響によって、都会暮らしから田舎暮らしへの価値が見直され、地方移住への追い風が吹いている。これまで負の資源とされた空き家が、価値ある地域資源として脚光を浴びていることを踏まえ、二地域居住など新たな空き家の活用に努められたい。

また、暮らしの拠点整備だけでなく、若年層の安定的な雇用創出のため、企業誘致を強化し、出流原PA周辺総合物流開発整備をはじめ、国道50号沿線開発や田沼・葛生地域における新たな産業団地の調査及び開発に努め、若年層の移住・定住のニーズに応える取組の充実に努められたい。

こ こ が 聞 き た い



早川 貴光 議員

新型コロナウイルス
の接種について



Q ワクチン接種に関する広報や周知について、市は、市民が総合的に勘案して接種の判断ができるように、予防接種の有効性及び安全性、副反応のリスク及び副反応を防止するための注意事項について住民に対して情報提供や接種勧奨をする役割がある。どのような形で広報や周知を行うのか。

A 市長

ワクチン接種は、強制ではありません。市民の皆様には、自らの意思で接種を受けていただくこととなりますので、情報提供をしっかりと行い、接種開始前の3月中には全戸へチラシの配布を行います。接種券郵送時には、説明書を同封するなど、ワクチン接種による予防効果と副反応のリスクの双方について周知し、あわせてコールセンターを開設して、直接質問をお受けする予定です。



高橋 功 議員(蒼生会)

水道未普及地域の
水問題解決に向けて



Q 水道未普及地域の水問題解決と、第2次佐野市水道ビジョン(案)のパブリック・コメントの意見に対する市の考えについて伺いたい。

A 上下水道局長

水道未普及地域への水道整備は財政的に非常に厳しい状況です。しかしながら、衛生的な水の確保は大変重要であると考えています。パブリック・コメントで寄せられた意見の内容は、現在生活用水として用いている井戸や沢水に対する濁水や水質への不安などから、水道整備を求める意見が大部分でした。水道整備を求める意見については、水道未普及地域を対象とした給水施設整備事業費補助金の動向を見ながら、水道整備以外の実現可能な対応策について、国の「人口減少地域における多様な給水方法に関する調査報告書」等を参考に、引き続き検討したいと考えています。

その他の質問

☆ケーブルテレビの未整備地域への整備による情報格差の解消に向けて
☆森林環境譲与税の活用と体制整備について



横井 帝之 議員(新風)

新型コロナウイルス
感染症対策について



Q 1月22日のニュースで、佐野市長より県に新型コロナウイルス感染者の詳しい情報について市町でも共有できるように申し入れる方針を明らかにしたとあったが、その後どのように情報共有の環境が変わり、どのような対応ができるようになったか伺いたい。

A 市長

12月からの本市と足利市における感染拡大局面を受け、足利市長とともに知事を訪問し、感染対策について要望書を提出しました。県と市との情報共有については、個人情報保護の観点から難しい部分もありますが、本市では1月より保健師を安足健康福祉センターに派遣し、自宅療養者の健康観察の聞き取り調査に協力していることから、今後具体的な情報連携の進展が期待されるかと見られます。





金子 保利 議員

コロナ禍の
救急業務について



Q 救急隊員は、119番要請患者と接することになるので、医師、看護師、医療関係職員と同じように、感染リスクが非常に高いと思われる。感染リスクが高い救急隊員をしっかりと守るため、PCR検査や抗原検査を定期的に実施すべきと考えるが、市の考えを伺いたい。

A 消防長

救急隊員に対する定期的なPCR検査は行っていません。救急隊員については、医療従事者の一端として、ワクチン優先接種の対象とされていますので、職員の感染並びに感染の媒体とならないよう緊急接種を行うとともに、ワクチンで獲得した抗体の数字が維持されているかの検査も必要であると考えているところです。PCR検査を含む各種の定期的な検査については、専門医の助言を得ながら検討したいと考えています。



田所 良夫 議員(新風)

旗川河川に関する
本市の危機管理に
ついて



Q 令和2年12月定例会の一般質問における答弁で、JR両毛線鉄橋から稲岡橋の2キロメートル区間において河川計画を策定中とのことだったが、稲岡橋のような橋長の短い橋については架け替えをするのか伺いたい。

A 都市建設部長

安足土木事務所にて、策定中の河川改修計画の進捗について照会したところ、現地の測量等は完了しており、現在、計画の詳細についての業務を実施していることが確認できました。
なお、稲岡橋の架け替えの必要性については、河道掘削などで計画の流量を確保することができない場合、川幅を広げることとなりますので、橋の架け替えを行うことが併せて確認できました。



小倉 健一 議員

防災について



Q 佐野市地域防災計画は、平成31年3月策定のものから、このたび改定となるが、見直した佐野市地域防災計画において、修正した重点箇所を含めた内容について伺いたい。

A 行政経営部長

令和元年東日本台風の教訓を始め、旗川が水位周知河川に指定されたことに伴う所要の見直しや、避難指示等を発令する際に、警戒レベルを周知することが主な修正箇所です。
また、市内部における活動体制として、災害警戒本部長を行政経営部長から副市長とし、災害警戒本部及び災害対策本部の各本部長の下に本部長の意思決定を補佐する本部長補佐として、危機管理監を配置すること、震度5強の地震発生時において全職員が登庁し、初動対応するなど活動体制の見直しを図っています。





鈴木 靖宏 議員(蒼生会)

令和2年度事業計画の
推進状況について



Q 国道50号沿線開発構想について、今は構想であるが、これが国道50号沿線開発基本計画に移行するのはいつになるのか伺いたい。

A 総合政策部長

今年度までの基礎調査や県との勉強会などの結果及び市の若手職員により編成された、国道50号沿線開発に関する政策の立案を目指す「ルート50沿線開発構想具現化プロジェクトチーム」の研究結果などを踏まえ、今後需要や開発の可能性、適地性、事業主体、事業手法などの調査検討を進めます。そして、基本計画の策定については、令和4年度からの総合計画中期基本計画の中で事業化が図れるよう、着実に推進していきたいと考えています。



岡村 恵子 議員(日本共産党議員団)

障害者支援施設とちのみ学園
職への支援策なども子育て
支援施設職員の支援策について



Q クラスタが発生した障害者支援施設とちのみ学園に対し、2度とこのような事が起こらないように定期的なPCR検査、抗原検査を行うべきと考えるが、市独自の支援策についてどのよう
に考えるか。

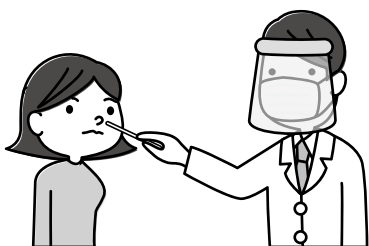
A こども福祉部長

陽性者発生当初より、災害派遣医療チームや県の職員などが派遣され、専門的指導などの支援が行われました。市としては、必要な支援について電話で確認し、防護服、マスクなどの配布を行いました。

また、市において県の抗原検査の対象とならない障がい者施設の職員を対象に抗原検査を実施する予定ですが、市独自の定期的な検査の補助は考えていません。

その他の質問

☆地方税収減に対する国の補填措置について



横田 誠 議員(新風)

市内スポーツ施設の
環境整備について



Q 市内のスポーツ施設は、老朽化がひどい施設が多く、抜本的な改修や建て替えが必要な施設もあると思う。国体が予定され、ネーミングライツも始まるうとする状況を踏まえ、市内全部のスポーツ施設に関して、計画的な改修、修繕が必要と考えるがいかがか。

A 観光スポーツ部長

老朽化したスポーツ施設の改修、修繕は、箇所数も多く、相当な費用がかかるため、計画性を持って進めます。

運動公園、アリーナたぬま等は、指定管理者の再選定期を迎えることから、中長期の各施設の整備・改修計画を検討し、特に運動公園は、設置後40年を超える体育館、プール等の老朽施設を抱えているため、耐用年数と維持管理コストを踏まえ、公園全体の効率的、効果的な維持管理について、民間手法の活用も含め調査検討を進めていきます。

その他の質問

☆地域市街地活性化につなげる創業支援について
☆チームとしての学校のあり方について



菅原 達議員(公明党議員会)

家庭保育について



Q 子育て世代の精神的、身体的負担を軽減し、安心して家庭での保育に専念できるよう経済的に支援する必要があると考える。

A ノルウエーにおける家庭保育手当は、1歳から2歳児を持つ親が、公的財源が支出されて運営される保育所を利用せずに子育てに専念する場合には、国家が保育所児童1人当たり支出する補助金相当額を親に現金給付する制度である。保育需要の緩和、経済的支援の平等性の確保、保育における選択の自由、安心して産み育てられる環境の提供などを踏まえ、(仮称)家庭保育手当制度を導入すべきと考えられているか。

こども福祉部長

A 保育の質の確保、子育て環境の向上、少子化対策、定住促進につながる可能性を考え、先進事例の把握に努めたいと思います。

その他の質問
☆子育て世代包括支援センターの充実について



慶野 常夫議員(政友みらい)

佐野市の新型コロナウイルス感染症への対応について



Q 新型コロナウイルス感染症患者が増加し、重症者に対する入院医療提供に支障が出るおそれがある場合、軽症や無症状で重症化のおそれが小さい患者については自宅で療養をしており、このような方が急変して亡くなる事例が多くある。自宅待機者への対応について伺いたい。

健康医療部長

A 安足健康福祉センターへ保健師を派遣し、自宅療養者への電話による健康観察に協力することを開始しました。また、自宅での療養生活の中で、不便に感じることで、不足する日用品など、県の対応で賄い切れない部分を市で支援できればと、自宅療養支援担当者を感染症対策室に増員したところです。

今後、第4波、第5波と感染者急増の波がいつ来るか分かりません。県との情報共有の下、自宅待機者へ支援をしていきたいと考えています。



鶴見 義明議員(日本共産党議員団)

マイナンバー制度について



Q 国は、マイナンバーカードの普及率向上のため、地方公務員まで取得するようにとしているが、現在の佐野市職員の取得率はどのくらいか。また、マイナンバーカードの発行は、申請を基に交付することが原則であり、たとえ職員でも決して強制があつてはならないが、どのような対応を行ってきたのか。

行政経営部長

A 令和2年12月末現在での全職員を対象としたアンケートでは、職員の取得率は68.6%です。

また、マイナンバーカードの取得は、最終的には個人の判断によるもので、強制ではありません。しかし、地方公務員のマイナンバーカードの取得促進は、総務省より各自治体に技術的助言として発出され、制度の普及啓発を担う立場もあるため、本市の職員に対しても、適宜取得に向けた働きかけを続けています。

その他の質問
☆ごみの分別について





久保 貴洋 議員(蒼生会)

学校跡地等の活用
における中山間地域
の活性化について



Q 廃校となった小学校の民間等施設としての活用の進捗状況とスケジュールを伺いたい。

A 総合政策部長

現在、活用に興味を示す複数の事業者と順次話し合いや現地案内を行っていきます。また、施設内に残された不用品の処分、土地の境界測量や不動産鑑定評価、プロポーザルの実施などに向け、跡地活用事業の全体スケジュールを検討しています。

全体スケジュールについては、1点目に、不動産の売却、貸付けに関する事務、2点目に、事業者の募集、選定に関する事務、3点目に、選定後の契約手続や議会対応に関する事務などと、大きく3つに区分した上で詳細に検討しており、スケジュールの策定は早ければ2月末に完了する見込みです。

その他の質問

☆県道桐生田沼線(春高橋前後)道路整備及び市道の整備について
☆令和元年東日本台風における普通河川の被害状況と復旧について



飯田 昌弘 議員(蒼生会)

超高齢化社会への
対応について



Q 佐野市の高齢化率は全国より高い。未婚化や晩婚化が主な要因と考えるが、未婚化や晩婚化に対する対処方法を伺いたい。

A 総合政策部長

令和3年度より結婚新生活支援事業を創設し、経済的な面から結婚を躊躇している方を支援し、新生活のスタートを後押しする準備を進めています。

さらに、今年度、総合戦略推進室に少子化対策・女性活躍担当を設け、妊娠、出産、子育てに関する佐野市の現状を深掘りし、課題を整理してきました。今後は、結婚や子育て、仕事との両立をしやすい環境を整備し、女性自らが望む形で活躍できる社会の実現と、お互いに支え合うべき存在である男性の意識改革を、地域や企業を始めとする社会全体として進めたいと考えています。

その他の質問

☆学校の教育環境の整備について



本郷 淳一 議員(公明党議員会)

国道50号沿線の
開発について



Q 佐野市の発展のためには、国道50号沿線の開発は大変重要であると考える。市当局の開発への思いを伺いたい。

A 市長

国道50号沿線の開発は、新たな企業の立地による雇用の拡大や農業経営の多角化に加え、人と物の流れの創出による産業振興と地域の活性化、ひいては本市の財政基盤の強化に寄与するなど、その効果は計り知れないものがあります。また、各町会からも前向きなご要望が寄せられています。

構想の具現化に当たり、治水対策はもちろんです。その他様々な課題があることも承知していますので、地域の皆様のご意見を頂戴しながら、十分に検討を重ね、北関東の新たな核的都市を目指し、地域振興に向け取り組む決意です。

その他の質問

☆クリケットのまちづくりについて
☆天明铸物のまちづくりに関して





川嶋 嘉一 議員(政友みらい)

佐野市のスマート
シティ構想について

Q 感染症や自然災害に強い次の時代の地域経済や、新しい生活様式に向けた改革の推進力となる佐野市版スマートシティの実現に向けた市長の決意とビジョンを伺いたい。

A 市長

新型コロナウイルスの影響による経済活動の急激な収縮や、一昨年の東日本台風に代表される災害リスク、少子高齢化や人口減少といった本市が抱える地域課題に的確に対応するために、佐野市スマートシティ構想を実現したいと考えています。具体的には、市民の安全安心、市民の健康増進、市民主導型の効率的な行政運営を3つの柱に掲げ、総合計画中期基本計画にも位置づけることで、将来にわたり持続可能な佐野市づくりにつなげていきたいと考えています。



亀山 春夫 議員(政友みらい)

渡戸橋について



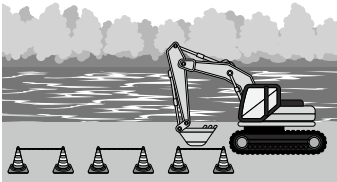
Q 渡戸橋の災害復旧について、工事施工業者がなかなか決まらないということを知っている。現在までの経過、進行状況及び早期工事完了に向けた市の考えを伺いたい。

A 都市建設部長

渡戸橋の災害復旧については、令和2年9月と11月の2回入札を行いました。建設業者が多く、災害復旧工事を現在実施中であり、技術者が不足していることから、入札不調となっていました。橋りょうの工事は、河川の水量が少ない11月から5月末までの渇水期に行うよう河川管理者の栃木県から指導されていることから、現在、令和3年度に改めて発注する準備をしているところ。令和3年度の渇水期になり次第、速やかに工事着手できると考えています。早期に入札を実施して、施工業者を決定したいと考えています。

その他の質問

☆ICT技術を活用した電子投票について



木村 久雄 議員(公明党議員会)

GIGAスクール
構想について

Q ICTリテラシーは、高度情報化、グローバル化が進展する現代社会に必要な資質、能力といえる。GIGAスクール構想を推進していく上で、ICTリテラシーをいかにして涵養するかが重要な課題となるが、ICTリテラシーに関する指導についてどのように考えているか。

A 教育長

ICTリテラシーに関しての指導は重要であると考えています。また、新学習指導要領にも情報活用能力を、言語能力と同様に学習の基礎となる資質、能力と位置づけています。現在の学校では、情報の収集、活用に関することや情報モラル、プログラミング等について指導しており、今後は1人1台の端末整備によって、児童生徒が実際に端末を操作しながら、日常的、主体的にリテラシーを学ぶことができるようになるかと考えています。

その他の質問

☆読書環境の整備について



令和3年第1回臨時会 審議された議案等と結果

2月8日(月)に第1回臨時会が行われました。審議された議案等とその結果は次のとおりです。

議案番号等	件名【内容】	議決結果等	
報告第1号	市長の専決処分事項の報告について【令和2年11月21日に発生した車両損傷事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報告	—
報告第2号	市長の専決処分事項の報告について【令和元年11月6日に発生した車両損傷事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報告	—
議案第1号	市長の専決処分事項の承認について【令和2年度佐野市一般会計補正予算(第14号) 歳入歳出予算の総額にそれぞれ36,320千円を追加、債務負担行為の補正】	原案可決	賛成全員
議案第2号	佐野市災害復旧堆積土砂排除工事請負契約の変更について【契約約款に基づく設計図書の変更に係る措置を講ずるための契約金額の変更】	原案可決	賛成全員
議案第3号	損害賠償の額の決定及び和解について【令和2年11月21日に発生した車両損傷事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	原案可決	賛成全員
議案第4号	令和2年度佐野市一般会計補正予算(第15号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ125,472千円を追加、繰越明許費の補正】	原案可決	賛成全員

令和3年第2回定例会(2月定例会) 審議された議案等と結果

第2回定例会(2月定例会)は、2月19日(金)から3月15日(月)までの25日間の日程で行われました。審議された議案等とその結果は次のとおりです。令和3年度予算に係る議案は、4ページをご覧ください。

議案番号	件名【内容】	議決結果等	
—	選挙管理委員の選挙について	当選決定	—
—	選挙管理委員補充員の選挙について	当選決定	—
議案第5号	人権擁護委員候補者の推薦について【富岡律子氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議案第6号	人権擁護委員候補者の推薦について【 ^{ほんがひ} 半谷昌弘氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議案第7号	人権擁護委員候補者の推薦について【藤倉悦子氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議案第8号	人権擁護委員候補者の推薦について【青山静代氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議案第9号	佐野市国民健康保険税条例の改正について【地方税法施行令の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第10号	佐野市企業版ふるさと応援基金条例の制定について【まち・ひと・しごと創生寄附活用事業の実施に係る法人からの寄附金を適正に管理運営するための制定】	原案可決	賛成全員
議案第11号	佐野市保育所条例の改正について【佐野市赤見城保育園を廃止するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第12号	佐野市子どもクラブ条例の改正について【第2旗川子どもクラブを設置するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第13号	佐野市介護保険条例の改正について【介護保険の保険料率を改定し、及び介護保険法施行令の一部改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第14号	佐野市介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の改正について【指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第15号	佐野市介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の改正について【指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員

議案番号	件名【内容】	議決結果等	
議案第16号	佐野市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の改正について【指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第17号	佐野市多目的集会所条例の廃止について【佐野市下作原多目的集会所を地元町会へ移譲するための廃止】	原案可決	賛成全員
議案第18号	佐野市市道の構造の技術的基準に関する条例の改正について【道路構造令の改正に伴い、自転車通行帯を設ける市道の基準を定め、及び自転車道を設ける市道の基準を改め、並びに所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第19号	佐野市道路占用料徴収条例の改正について【道路占用料の額を改め、及び所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第20号	佐野市準用河川流水占用料等徴収条例の改正について【流水占用料等の額を改め、及び所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第21号	佐野市公共物管理条例の改正について【公共物の使用料の額を改め、及び所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第22号	佐野線田沼・多田間開渠改修工事委託契約の変更について【工事完了による契約金額の変更】	原案可決	賛成全員
議案第23号	氷室辺地総合整備計画の策定について【辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律によって、氷室辺地に係る公共的施設の整備を図るための、氷室辺地総合整備計画の策定】	原案可決	賛成全員
議案第24号	白岩・作原辺地総合整備計画の変更について【白岩・作原辺地総合整備計画の変更】	原案可決	賛成全員
議案第25号	令和2年度佐野市一般会計補正予算(第16号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ854,060千円を減額、継続費の補正、繰越明許費の補正、債務負担行為の補正、地方債の補正】	原案可決	賛成全員
議案第26号	令和2年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第4号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ64,182千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第27号	令和2年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ341千円を追加、地方債の補正】	原案可決	賛成全員
議案第28号	令和2年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第5号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ4,875千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第29号	令和2年度佐野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ6,604千円を減額】	原案可決	賛成全員
議案第30号	令和2年度佐野市水道事業会計補正予算(第3号)【収益的収入の予定額に2,924千円を追加、収益的支出の予定額に16千円を追加、資本的収入の予定額から2,748千円を減額、他会計からの補助金を81,183千円に変更】	原案可決	賛成全員
議案第31号	令和2年度佐野市下水道事業会計補正予算(第4号)【収益的収入の予定額に8,213千円を追加、収益的支出の予定額から5,131千円を減額、資本的収入の予定額に291,690千円を追加、資本的支出の予定額に307,000千円を追加、企業債の限度額を772,300千円に変更、利益剰余金の処分量を216,827千円に変更】	原案可決	賛成全員
議案第39号	令和2年度佐野市一般会計補正予算(第17号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ44,892千円を追加、繰越明許費の補正、債務負担行為の補正、地方債の補正】	原案可決	賛成全員
議案第40号	令和3年度佐野市一般会計補正予算(第1号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ122,813千円を追加、地方債の補正】	原案可決	賛成全員



令和3年5月臨時会日程(案)



新型コロナウイルスの感染状況により、日程を変更する場合があります。

月	日	開会時間	会議内容
5月	12日(水)	10:00	臨時会(議長・副議長の選挙など)



令和3年6月定例会日程(案)



新型コロナウイルスの感染状況により、日程を変更する場合があります。

令和3年6月定例会の日程は5月28日(金)の議会運営委員会で内定し、6月4日(金)の本会議で決定します。

5/24日(月)	25日(火)	26日(水)	27日(木)	28日(金)	29日(土)	30日(日)
		請願・陳情 提出期限(17:00)		13:30 議会運営委員会		
31日(月)	6/1日(火)	2日(水)	3日(木)	4日(金)	5日(土)	6日(日)
				10:00 本会議 (開会、市長の施政方針表明、議案説明)	休会	休会
7日(月)	8日(火)	9日(水)	10日(木)	11日(金)	12日(土)	13日(日)
休会	10:00 本会議 (施政方針質疑、議案質疑)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	休会	休会
14日(月)	15日(火)	16日(水)	17日(木)	18日(金)	19日(土)	20日(日)
9:00または10:00 建設常任委員会 13:30 厚生常任委員会	9:00または10:00 経済文教常任委員会 13:30 総務常任委員会	休会	休会	10:00 本会議 (委員長報告、質疑、討論、表決、閉会)		

※建設常任委員会及び経済文教常任委員会の開会時間は、付託された議案等の件数が6件以下の場合は午前10時に開会、7件以上の場合は午前9時に開会となります。

臨時会号

(6月1日発行)のご案内

令和3年4月11日(日)に佐野市議会議員選挙が行われ、24名の議員が当選されました。6月1日発行の市議会だより第77号(臨時会号)でご紹介します。ぜひご覧ください。

私達編集委員による発行は最後となり、次回からは新メンバーによる編集となります。引き続き、ご愛読のほどよろしくお願いたします。

(亀山記)

2月定例会は、新たな感染症対策を講じた議会運営の中で、議案の審議や一般質問などを行いました。今期定例会では、全36議案を議決しましたが、令和3年度の一般会計予算、特別会計予算及び企業会計予算においては、予算審査特別委員会を設置し、3日間にわたり審査を行いました。

編集後記

- 【編集委員会】
- 委員長 篠原 一世
 - 委員 川嶋 嘉一
 - 委員 菅原 達
 - 委員 久保 貴洋
 - 委員 亀山 春夫
- (令和3年4月16日まで)

本紙は再生紙を使用しています。